

成果報告会



あさひ幼稚園

石井 隆弘 副園長

Topics

1. 「あさひ幼稚園」の紹介
2. 本事業に申し込んだ理由
3. 取り組み内容
4. 振り返り

1. 「あさひ幼稚園」の紹介



施設概要

施設種別 : 幼稚園

設置主体 : 学校法人 光薫学園

所在地 : 鳥栖市儀徳町2609

設立日 : 昭和54年4月

定員 : 240名 (利用定員203名)

職員数 : 24名

「あさひ幼稚園」の特色

・遊びの中に「学び」がいっぱい



・絵本との出会いから豊かな心と言葉を



・強い体と心は裸足・薄着から



教育・保育の風景



子どもが主役！
「したい」ができる保育環境



絵本は心のごはん
2,000冊以上の絵本と先生の温かい読み聞かせ



広い園舎、砂場でのびのびと！

「あさひ幼稚園」の職員自慢

・チームワーク抜群

創立時から大切にしてきた先生たちのチームワーク

年代も働き方も経歴も違うけれど、みんな仲間という雰囲気・一体感



先生達、いつもありがとうございます！



2.本事業に申し込んだ理由



もっと良い職場環境になるには・・・

今いる先生と永く、楽しく働いていくためにはどう改善すれば？
今後予想される人材不足・採用難や出産・育休への対応策は？



よし！応募しよう！！

そんな中、佐賀県からのモデル園への参加案内があり、職員が働き易く、やりがいを持って勤めていける幼稚園にしていくことを目指して、本事業に応募いたしました。



こんな園にしたい！

職員向け目的

「先生も輝くあさひ幼稚園」

保育をもっともっと
語り合える環境へ

職員の特徴

- ・チームワーク◎
- ・保護者の信頼◎
- ・やりがい ◎

⇒素晴らしい保育者集団（現在）



教育・保育の質向上を前提にした
現状の業務見直し（本取り組み）

子ども向け目的

「子どもが輝くあさひ幼稚園」

職員・保護者・地域に愛され、
ずっと必要とされる場所へ



3. 取り組み内容



現状の把握

職員が仕事（＝教育）に対する思いが強いことから、
そこまで大きな問題はないと考えていましたが、

改善の切り口や現状を把握するために、
コンサルタントの意見を参考に、まずは全職員を対象としたアンケート
を実施しました。

【参考】職員からの各種意見

「早く帰ろうと呼びかけてもらえて有難いものの、帰れない現状がある」

「より良い保育の為に日々残業をし、疲労感やストレスを感じている」

「より良い保育にするためにも、クラス担任が定時で帰れるシステムの構築を」

「結婚後も仕事を続けていきたいので、
安心して出産育児ができる職場環境になってほしい」

「会議等の時間が年々増加しているので短縮できるアイデアを」

アンケートを終えて感じたこと

保育が好きだ！あさひ幼稚園が好きだ！という気持ちや、職員間の良好な人間関係については満足できる結果であったが、

休憩が取得できていないことに対する職員の負担感が想定よりあったことに驚きました。

また、事務（手書き）が多く、残業や持ち帰り業務があることも職員の大きな負担になっていることがわかりました。

そこで、次のような目的・目標を定め、対応をしていくこととしました。

目的・目標の設定

目的

- ・ 「子どもが輝く」、そして「先生も輝く」あさひ幼稚園の実現
- ・ 保育者が生き活きと活動し、保育を語り合える良好な人間関係の中でより良い保育を作り、それらを子ども達に還元し続ける環境づくりを目指す

目標

- ・ 日々の業務内容を全職員で見直し、目的に沿った改善点を見つけていく
- ・ 既存のICT環境も再考し、仕事の仕方に対する意識改革と気持ちに余裕のできる職場作りをしていく

アクション① 各種お便りの簡素化

アクション詳細

■ 課題

お便り作成を手書きで行っていたことから、職員ごとに質や作成時間が異なり、負担感が多くあった

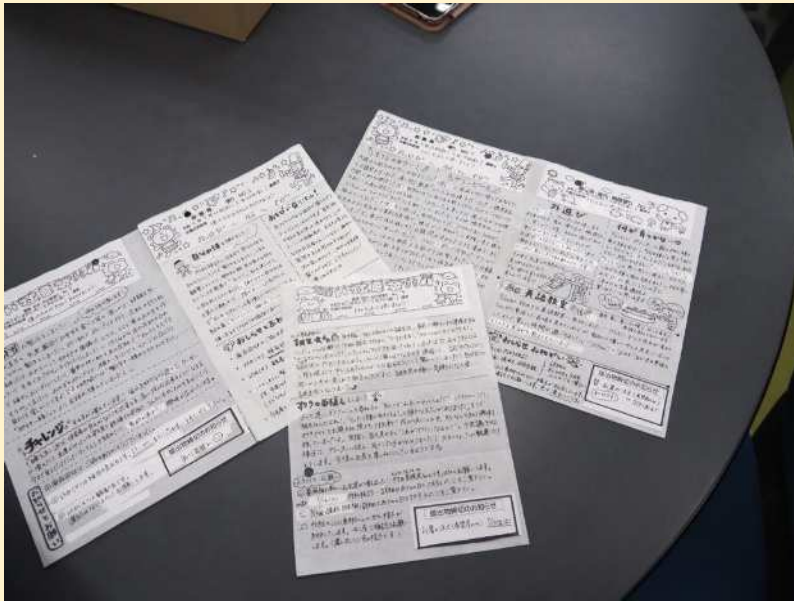
■ 対応

作成用のフォーマットを準備した上で、作成するためのデバイス環境を整えた。



お便りのICT化

変更前



これまで手書きをしていたお便りを・・・

変更後



タブレットでの作成に変更し、
データをオンラインで配信

デバイス環境の充実

変更前



タブレットについても、
入力のしづらさがあった為・・・

変更後



キーボード等を整備し、
作業がしやすい環境を整えた

アクション②各業務の見直し

アクション詳細

■ 課題

お便り以外の負担もあり、
休憩が取れていない環境だった。
また、職員の意識としても休憩を取るという
意識が不足していた。

■ 対応

休憩意識の醸成と併せて、
事務や朝礼などの時間削減を図った。



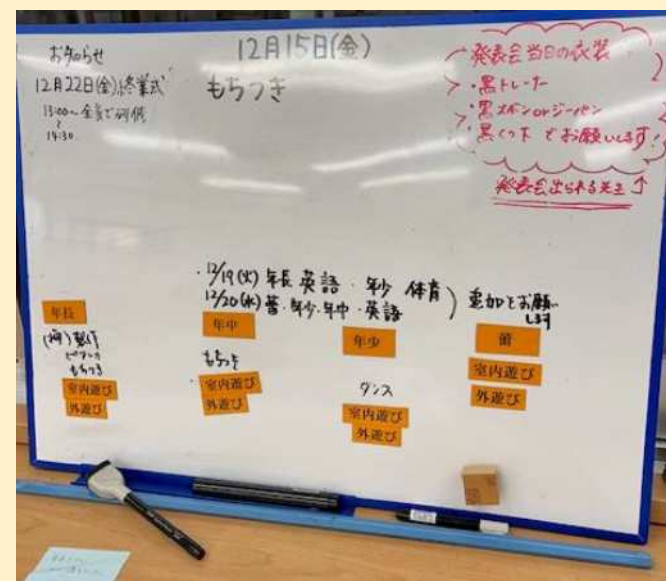
休憩環境の整備、朝礼の時間短縮

休憩環境の整備



休憩環境の整備として、休憩室を確保

朝礼の周知時間短縮



朝礼周知の効率化の為、
ホワイトボード活用での情報共有を実施

ブログからSNSの活用へ

変更前



更新の手間がかかるブログから

変更後



更新がしやすいSNSを活用へ

4.振り返り



取り組みを振り返って

- ・全職員の本音が聞けた。
- ・先生達が意見を言ってくれるように。意見交換が以前より活発に。
- ・保育を語り合える時間の確保（+活発な意見交換）
- ・第三者の意見を聞くことで「絶対できない」が「できる」に。
「難しそう」が「やってみよう」に。

・「ここからが大事！」

アクション①休憩取得の更なる促進と定時退勤へのアプローチ

アクション詳細

■ 内容

休憩が取得しづらい1学期の対応や、定時退勤への意識改革。

■ 対応

- ・休憩取得に関して、学年毎に方法を変える等を検討・実行する。
- ・ICTをもっと上手に使うって業務を見直し、「帰ります！宣言」で定時退勤を少しでも増やしていく。



アクション②保育を語り合う時間の確保（定期的）

アクション詳細

■ 内容

「限られた時間で最大の効果を」

■ 対応

WEBサイトのブログをSNS活用に変更する等、
効果的かつ作成時間の低減を図る

⇒空いた時間を確保し、全職員同士の
意見交換を行う。



ご清聴ありがとうございました

